

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6  
居住環境づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 土木部 都市計画課長 西村成人 電話番号 0852-22-5209

事務事業の名称	都市公園の管理運営	
目的	(1) 対象	県立都市公園利用者
	(2) 意図	都市公園の機能を維持し、安全で快適な利用を確保する。
事業概要	県立都市公園（浜山公園、石見海浜公園、万葉公園）の適切な維持・修繕・管理運営を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公園利用者数	目標値		139.0	139.0	139.0	139.0	万人
	取組目標値							
	式・定義 公園利用者数	実績値	145.4	139.2	132.9			
		達成率	-	100.2	95.7	-	-	%
2	指標名	目標値						
	取組目標値							
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	349,491	346,037
うち一般財源 (千円)	337,863	335,336

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成29年度の県立都市公園の利用者数は132.9万人であり、アクアスのシロイルカプールの改修で石見海浜公園の利用客が減ったもので、他の公園は前年度に比べ3.0%（2.3万人）の伸びとなった。（石見海浜公園 8.6万人減、浜山公園 1.8万人増、万葉公園 0.5万人増）  
 ・平成22年度より指定管理者評価制度を導入し、外部委員による評価を受けている。その結果を今後の公園管理に反映し、適正な管理水準を維持し、県民サービスの向上を図った。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成29年度の公園利用者が、浜山公園及び万葉公園で、前年度に比べ増加した。（浜山公園 103.6%、万葉公園 101.8%）  
 ・県民のイベントへの参加機会を拡大できた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・施設の維持管理費が増加傾向にある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・施設や設備の老朽化

### ③原因を解消するための「課題」

・公園利用者のニーズを踏まえた施設・設備の改善

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・公園利用者のニーズに対応したサービス（スポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等）を提供するために、施設の適切な整備や維持管理を推進し、安全で安心な施設利用に貢献することで、公園利用者数の増加に努める。  
 ・施設・設備の現状や公園利用者のニーズを踏まえ、優先順位を設定した上で改善を行う。